



中綿の接着樹脂が 溶けてしまう

羽毛などの中綿を入れてあるブルゾンや防寒コート類の場合で、デザイン上、表地と中綿を接着樹脂で一体化してあるものがあります。

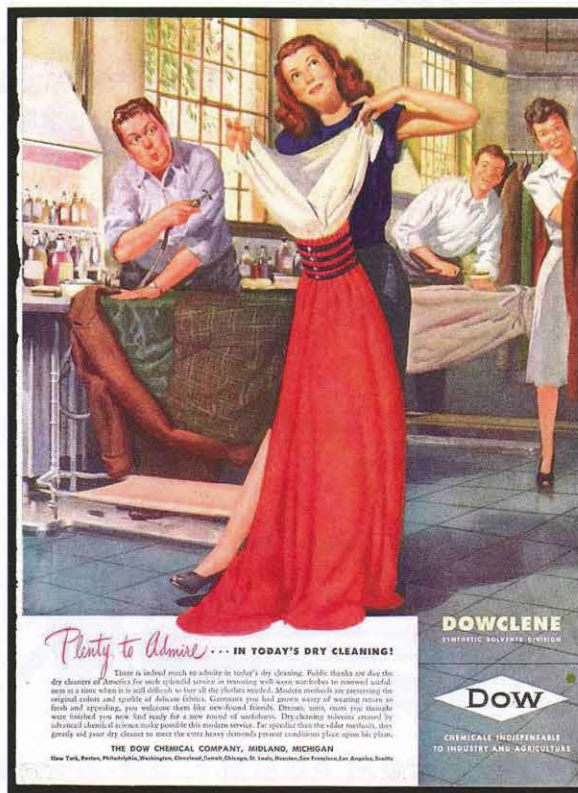


多くの製品は、ドライクリーニングで洗うことを配慮して、溶けない樹脂接着剤を使用していますが、まれにドライの表示なのに、ドライクリーニング溶剤で溶けてしまう不適切な接着剤を使用しているものがあります。

接着樹脂が溶け出すと、斑点のように生地表面にシミが発生して、デザインが台無しになってしまいます。また、中綿に染み込むと中綿を接着して、ペタンコになったり、硬くなったりします。

絵画の中の洗濯風景

新しいドライクリーニング化学



ダウケミカル社広告 1946年

第二次世界大戦後、ドライクリーニング化学は急激に進歩しました。クリーニングですっきりきれいになったドレスを嬉し気に掲げる女性は、終戦直後の明るい未来を感じさせます。このポスターは、アメリカの有力化学メーカーであるダウケミカル社が開発したドライクリーニング溶剤ダウクリンの広告です。「今日のドライクリーニングには賞賛すべき点がたくさんあります!」というタイトルで、先進の化学によってデリケートなファッションを復元して新品のようによみがえりますというメッセージが記されています。

暮らし応援ニュースレター

HomeDry News

ホームドライニュース No.109



- 絵画の中の洗濯風景:
新しいドライクリーニング化学
- 衣生活の知恵:
中綿の接着樹脂が溶けてしまう
- 衣類のケア講座:
知っておくと怖くない! 暮らしの中の悪玉生物たち





衣類のケア講座

知っておくと怖くない！

暮らしの中の悪玉生物たち

防虫剤使い分けて衣類の害虫対策

衣替えの季節になりました。大切なウールのセーターを出してみたら、虫に喰われていて悔しい思いをしたことはありませんか？ 衣類を食害する代表的な害虫は4種。鞘翅目(コウチュウ目)に属するヒメカツオブシムシとヒメマルカツオブシムシ、鱗翅目(チョウ目)に属するイガとコイガです。

「ヒメカツオブシムシ」の成虫は紡錘形をした黒色の甲虫(4.5~5.5ミリ)、「ヒメマルカツオブシムシ」の成虫は短楕円形で灰黄色まだら状を呈する甲虫(2.8~3.0ミリ)です。



ヒメカツオブシムシの幼虫

繊維を食害するのは幼虫期のみですが、イガやコイガより旺盛に食害するので要注意。

「イガ」の被害は、幼虫(5~6ミリ)が繊維を直接食害することに加えて、繊維を巣材として切断することによって起こります。温度が25~30℃で、湿度が低いほど食害が増大します。

「コイガ」は、植物質でも生育が可能な点がいガとは異なります。幼虫(6~7ミリ)は繊維に吐糸で固定した不規則な筒状の巣を作り、中に潜んで食害します。

【防除対策】



衣類害虫を対象とした防虫剤は、忌避・殺虫効果の高い「パラジクロルベンゼン」を主成分とするタイプと、即効性の高い「合成ピレスロイド」を主成分とするタイプがあります。パラジクロルベンゼンは持続効果が長いですが、臭いが強い。一方、合成ピレスロイドは前者よりも持続効果が短いですが、臭いが弱いというのが特徴です。衣類に応じて使い分ければよいのですが、どちらの場合も衣類ケースは極力密閉性の高いものが効果的です。

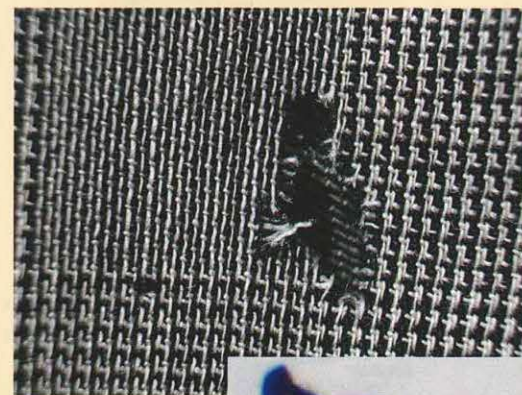
(エフシージー総合研究所 暮らしの科学部)

ヒメマルカツオブシムシの成虫が 白い花に集まっています



初夏にマーガレットなどの白い花の花芯を見てみると、コメ粒ほどの小さな甲虫を見つけることができるでしょう。これが、ヒメマルカツオブシムシの成虫なのです。

【複合素材の食害事例】



これは、ポリエステル製の黒い糸と羊毛の白い糸で織られた生地の食害ですが、白い羊毛

参考:羊毛の虫害切断面

繊維だけが食害を受けているので外観上は黒いシミのように見えます。

(品質情報研究所)